



◆沿革

- 昭和 50 年 (1975 年) 4 月 1 日 小野小学校敷地内に小学部設置、「小野養護学校」として開校
- 昭和 51 年 (1976 年) 4 月 1 日 中学部設置 【校章制定】
- 昭和 59 年 (1984 年) 4 月 1 日 新校舎の完成とともに、現在の場所へ移転
- 11 月 24 日 完成式典【創立記念日】
- 平成 19 年 (2007 年) 4 月 1 日 学校名を小野市立小野特別支援学校と改称



◆校章の由来

円の内部は、養護学校の「よ」の字を図案化し、子どもが大きく手を広げて元気に頑張っている様子を表わし、外円は、学校の児童生徒が手をつなぎ助け合っていることを表わしている。

◆青野ヶ原台地で受け継がれる建学の精神

本校は、小学部と中学部を設置する市立の特別支援学校で、開校来、40 数年の歴史と伝統を持つ。校地は、全国でも屈指の河岸段丘地帯「青野ヶ原台地」の南端部にあり、台地の東側には加古川が流れ、豊かな田園地帯が広がり、学校周辺は里山の素晴らしい環境が保全されている。平成 28 年度グリーンスクール奨励賞を受賞。

校門を入ると、玄関前の築山に「小さきは 小さきままに 折れたるは 折れたるまに 花ひらくコスモスの花」との碑があり、コスモスは本校のシンボルとなっている。このコスモスに代表される個性を尊ぶ建学の精神が、脈々と受け継がれる一方、「協働学習」「授業づくり」など、新しい試みも絶えず取り入れている。



◆キャリア教育の視点に立った協働学習

本校では、障害特性や発達段階の違う多様な児童生徒が共に支え合い、仲間と共に学習をすることを目指し、全校校外学習などの行事や集会など全ての活動において、異年齢集団や、縦割り班活動などのグループ単位で協働学習を実践している。協働学習の集大成として、毎年行われる「ふれあいフェスティバル」では児童生徒がオペレッタを上演している。上演に向けての小道具の製作や練習には学校全体で取り組み、小野市をはじめ、周辺各教育機関や市町から大きな評価を得ている。



◆ICTを活用した、分かって動ける授業づくり

2013 年度から、デジタルTVとタブレット端末を全教室に整備し、小学部から中学部まで一貫して、ICTを活用した教育活動を展開している。ICTを活用することで、教師が伝えたいことが明確化されるだけでなく、障害特性や発達段階の異なる児童生徒にきめ細かく支援できるようになった。また、授業の流れが学校全体で統一されており、児童生徒は見通しを持って授業に参加できるうえ、継続的なICT活用によって、分からないことは自らICTを利用して確認するなど、主体的な学習活動の場面が増えている。

